

34 食品流通拠点整備の推進

【令和4年度予算概算決定額 12,566（14,164）百万円の内数】

＜対策のポイント＞

「三つの密」の防止を徹底しつつ、災害時においても生鮮食料品等の安定的な供給体制を確保するとともに、農林水産物の輸出拡大や流通のグリーン化を促進するため、品質・衛生管理の強化、物流業務の省力化、保管調整機能の強化等を図る卸売市場施設及び共同物流拠点施設の整備を支援します。

＜事業目標＞

- 1 中央卸売市場当たりの取扱金額の増加（695億円〔平成28年度〕→ 719億円〔令和6年度まで〕）
- 共同物流拠点の入荷時のトラックの積載率に対し、出荷時の積載率を10%以上向上

＜事業の内容＞

1. 卸売市場施設整備

生鮮食料品等の流通の核としての機能の高度化、防災・減災への対応、農林水産物の輸出拡大を図り、グリーン化に対応した生鮮食料品等の流通を実現するため、

- ① 品質・衛生管理の強化
 - ② 物流業務の効率化、省力化
 - ③ 保管調整機能の強化
 - ④ 輸出先国までの一貫したコールドチェーンシステムの確保
 - ⑤ 輸出先国が求める衛生基準の確保
- 等に資する卸売市場施設の整備を支援します。

2. 共同物流拠点施設整備

物流効率化やCO2排出削減に資する共同配送・モーダルシフトのためのストックポイント等の共同物流拠点施設の整備を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 卸売市場施設整備



高度な温度管理により、品質衛生管理、保管調整機能を強化



輸出先国が求める衛生基準を満たした加工処理施設



場内業務の効率化、省力化



加工処理施設入室前に除塵

2. 共同物流拠点施設整備

